

2018 年 6 月 27 日

Ocean Network Express Pte. Ltd.

新造コンテナ船「ONE STORK」がシンガポールに初寄港

6月25日に、当社コーポレートカラーで塗装された初の新造コンテナ船 ONE STORK（14,000TEU 型）がシンガポールのPasir Panjang コンテナターミナルに初寄港し、当社CEOの Jeremy Nixon とシンガポール港湾局のマネージングダイレクター Eddy Ng氏が本船ブリッジ上での式典に参加致しました。

ONE STORKは6月12日にジャパンマリンユナイテッド株式会社呉事業所で竣工し、引き渡し後、高雄―香港―塩田―カイメツプへの寄港を経て、アジア最終港であるシンガポールに寄港しました。この後スエズ運河を経由して、北米東岸のニューヨーク、ノーフォーク、サバンナ、そしてチャールストンへの寄港を予定しています。

ONE STORK のシンガポール初寄港を祝して、Nixon CEO は次のコメントを寄せました。

「私たちが Global 本社機能を持ち、ONE にとって主要なオペレーションのハブ港であるシンガポールに、ついに寄港したことを大変歓迎しています。世界で最も技術的に優れた新しいコンテナ船に乗船する全乗組員の安全な航海を祈ります。」

本船の特徴としては、機関室スペースを最小に抑えることで積載効率を一層高めた船型を採用しています。また主機には High と Low の 2 つの出力レンジを選択することができる Dual Rating システムを装備し、二酸化炭素排出量および燃料消費量を大幅に抑え、業界最高水準の省エネ運航を可能としています。

シンガポール港に寄港したその色鮮やかな本船を目にし、「船隊のマゼンタ色は、船出をしたばかりの新しい会社の発足と、世界のコンテナ船業界の中で革新的な取り組みをするその意思の象徴となる色です。この色が目立つことは安全性の向上にも貢献し、ゆくゆくはこの後に続く姉妹船の新造コンテナ船の船出により、徐々ににより多くの人の目に触れることを願います。」と Nixon CEO は続けます。

本船は THE ALLIANCE のアジア・北米航路（EC4）サービスに投入され、お客様へ一層の高品質かつ競争力の高いサービスを提供して参ります。

【ONE STORK 本船概要】

全長	364 M	載貨重量トン	139,500 T
全幅	50.6 M	総トン数	145,251 T
深さ	29.5 M	載貨容積数	14,026 TEU
夏季満載喫水	15.8 M	船籍	日本



▲ 初の新造コンテナ船 ONE STORK（14,000TEU 型）がシンガポールの Pasir Panjang コンテナターミナルに初寄港。



▲ (左から): CEO Jeremy Nixon、ONE STORK 船長 の Ranish R. Shenoy。